

# 駒澤大学 2-0 朝鮮大学



リベンジ果たし

後期初の 2 連勝！！

サイドから攻め上がる平野(左)と碓井(右)(撮影：高尾葉菜)

10 月 13 日 11:30 東京国際大学坂戸キャンパス総合 G

駒大 2 (1-0) 0 朝鮮大 (1-0)

得点者 (アシスト)

[駒]37 分小牟田(須貝)

[駒]48 分若山(碓井)

KOMAZAWA	TYOUSENN
GK①大石健太(4)	GK①李 在根(2)
DF⑩須貝 暁(3)	DF③李 教俊(2)
DF④平尾優頼(3)	DF④許 亮 (4)
DF⑮川岸祐輔(3)	DF②慎 鐘紀(3)
DF③田中雄一(4)	DF②鄭 壮輝(3)
MF⑥若山瞭太(4)	MF⑥任 良太(4)
MF⑦碓井鉄平(4)	(70 分金 大伸(3))
MF⑰平野篤志(2)	(82 分韓 昌洙(4))
(67 分⑩吉岡雅和(1))	(82 分韓 勇俊(1))
MF⑪小牧成亘(3)	MF⑰高 志煌(2)
FW⑳立石忠之(2)	MF⑱康 貴成(1)
(82 分糸井康裕(4))	FW⑱朴 利基(3)
FW⑨小牟田洋佑(3)	FW⑳金 慎也(2)
(85 分柳川剛輝(2))	(53 分高 尚人(4))
<b>S U B</b>	<b>S U B</b>
GK②檜山昇吾(4)	GK⑱朴 将誠(3)
DF⑤伊藤慎人(3)	DF⑲安 泰永(1)
MF⑳梶玉卓也(1)	DF⑲洪 潤極(1)
MF⑰キンデセン(1)	MF⑲都 星寿(3)
<b>MANAGER</b>	<b>MANAGER</b>
秋田浩一	金 載東

[シュート]12:5 [GK]7:18 [CK]12:6 [直接FK]16:16  
[間接FK]0:3 [主審]松田 卓磨[観衆]177 人

警告(C) / 退場(S)

[駒]37 分 小牟田洋佑(c)

[駒]48 分 田中雄一(c)

※データの左側が駒大

## 2 発 0 封 2 連勝！！

前節、退場者を出しながらも逆転勝利を挙げた駒大は後期開幕戦で出鼻をくじかれた朝鮮大とのリベンジマッチに挑んだ。前回の対戦は自らのミスからの敗戦であり、試合は駒大優位に進んではいたため今節は確実に勝ち点 3 を奪いたい一戦だ。

試合の序盤は均衡した状態が続く。駒大は最前線の小牟田、立石を起点に得意のサイドに展開し、攻め込むもパスの精度を欠きなかなか押し込めない。しかし平尾や久しぶりの先発出場の川岸など守備陣がしっかりと朝鮮大の攻撃を跳ね返し続けることで徐々にリズムを掴む。すると 37 分、右 SB で初先発入りを果たした須貝のクロスを小牟田が頭でゴールに流し込み先制点を挙げる。その後もスキのない守備を見せ安定した試合運びで前半を 1-0 のまま折り返す。

後半開始直後の 48 分、駒大は右サイドから攻撃を仕掛け、入ってきたクロスを碓井が落し若山がダイレクトで強烈なミドルシュートを放つとキーパーの手を弾き、ゴールに突き刺さる。

2-0 とリードを広げ後半の序盤から試合の主導権を握る。その後は何度か裏をとられる場面も見られたが「平尾と声を掛け合えば大丈夫だと思った」と川岸が言うように連携のとれた守備で朝鮮大の攻撃を前半同様に跳ね返し続け 2-0 のまま試合終了。地力の差を試合の内容、結果ともに見せつけ開幕戦のリベンジマッチを完勝で終えることが出来た。

「選手たちに上に行きたいという気持ちがあった、でも押していたし 3、4 点取れていたと思う」と試合後に秋田監督が語るように気持ちを見せた今節の試合内容からすればもっと点を取ってもよい試合ではあり、優勝・昇格を目指す駒大は今節の結果に対し、決して慢心してはいけない。残り 6 節、「内容どうこうより勝ち点 3 取ってもう 1 歩前へ前進したいと思う」という今節 1 得点と存在感を見せた若山の試合後の言葉通り、1 節ごとにしっかりと勝ちにこだわって戦うことが出来れば選手たちの納得できる結果がついてくるだろう。

(向江凌理)